

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイリーハウス にしほら			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 20 日 ~ 令和7年 5月 20 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 20日 ~ 令和7年 5月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの心身の状態や気分の変化を観察して状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援を行っています。	その日の児童の心身のコンディションによって活動内容を柔軟に変えて対応している。また、友達との関わりを通じて社会性の育成を目指し、協調性やコミュニケーション力を伸ばす支援を行っています。	元気な児童も静かに過ごしたい児童も選ぶことができるよう 「動」と「静」の両方の活動メニューをバランス良く設定し、児童が自ら選択できるよう取り組んでいきます。
2	子供たちの感性や探究心を育むために季節や天候、自然環境に応じた自然素材遊びを取り入れ遊びや活動を行っています。	児童の興味関心を持続させるためにその日の天候や児童の体調や気分の観察を行い、その日の状態に応じて柔軟に活動内容を変更して児童が楽しみながら意欲的に参加できる環境作りを心がけています。	定期的に活動の振り返りを行い、好評だった活動等を記録し今後の活動内容の改善や選定に活かします。また、親子で参加できるようなイベントの企画に取り組んでいきます。
3	個別の身辺自立の向上を図る為に基本的な日常生活動作を段階的な習得「できること」を伸ばし自立した生活を送れるよう支援しています。	日常生活の中で、挨拶、清潔保持（身だしなみ、手洗い等）、整理整頓等の基本的な生活習慣が自然に身につくよう声かけや職員のお手本を通じて繰り返し支援を行います。使った物の片付けや身の回りの清掃を日課に組み込んで習慣化出来るように児童一人ひとりのペースに合わせて働きかけています。	日課ややるべきことを視覚的に示し、本人が自発的に行行動できるよう視覚的支援ツール（タイムスケジュール等）の活用し、時には職員がお手本（良い例と悪い例等）を見せてなぜ必要なのかを丁寧に伝えていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催や保護者同士の交流の機会が少ない。また、兄弟向けのイベント開催がなかった。	ゆんたく会の開催が出来ていなかったことや、兄弟も参加出来るようなイベントの企画がなかった。	保護者同士の交流の場を設けて、O Bの保護者を招いてアドバイスをもらう会の開催など企画していきます。また、親子（兄弟も一緒に）で参加できるようなイベントの企画に取り組んでいきます。
2	事故防止マニュアル、感染症対応マニュアル等の策定や発生を想定した訓練の実施報告等、保護者への周知が円滑にできていない。	実施した訓練の様子のお知らせや策定したマニュアルの掲示が充分でない。	訓練時の児童の様子や実際の有事の際の避難場所、策定したマニュアルを掲示したり L I N E 等で保護者へ伝えていきます。
3	保護者への情報発信が少ない。	口答で伝えることが多く、情報発信ツールの活用不足であった。	送迎時に児童の活動の様子を口答で伝えつつ、毎月末に情報発信ツール（L I N E 等）を活用して児童の活動の様子（写真・動画等）や次月の行事予定やお知らせ等も含めて伝えることができるよう取り組んでいきます。